

業務名「道内大学研修」(担当者 ○○○)

1 仮 説

- (1) 本物の研究を知る（体験する）ことにより、科学に対する好奇心が高まる。
- (2) 創造性・独創性が高まり、探究活動に対する意欲が高まる。
- (3) 実際に研究の現場に出向くことにより、未知の事柄を探求する姿勢が養われ広い視野を持てるようになる。

2 ねらい

- (1) 専門の研究機関（大学）で、本物の研究を知る（体験させる）ことにより、科学に対する好奇心を高める。
- (2) 体験を通して、創造性・独創性の育成及び研究開発意欲の育成を図る。
- (3) 実際の研究の現場を見ることにより、広い視野を持つ人材を育てる。

3 内 容

(1) 日 時

令和7年11月27日（木）～11月28日（金）（1泊2日）

(2) 研修場所

北海道大学（札幌市）

(3) 講 師 5講座（決定）

工学研究院応用物理学部門ナノバイオ工学	准 教 授 内田 努 氏
農学研究院 基礎研究部門 応用生命科学分野	教 授 奥山 正幸 氏
工学研究院 応用化学部門 分子機能化学分野	准 教 授 磯野 拓也 氏
人獣共通感染症国際共同研究所 国際協力・教育部門	准 教 授 林田 京子 氏
獣医学研究院 獣医学部門 病原制御学分野	准 教 授 中尾 亮 氏

(4) 引率教諭 5名

(5) 行 程

11月27日（木）

7時15分 旭川西高集合

7時30分 旭川西高出発（貸切バス）

9時30分 北海道大学着・各研究室に移動

10時00分 各研究室へ移動（講義 10:00～14:00）

※昼食時間帯等は各研究室にお任せする（昼食費は生徒個人負担）

17時00分 終了（実習 14:00～17:00）

※研究室により多少ばらつきあり

17時15分 バスで宿舎へ移動

17時30分 宿舎到着

18時00分 夕食

19時30分 研修のまとめ、自由時間、就寝準備

23時00分 就寝・消灯

11月28日(金)

6時00分 起床
7時00分 朝食・出発準備
8時30分 宿舎発(バス)
9時00分 北大着 研修のまとめ
10時00分 研修のまとめ発表
1班約20分(発表、質疑応答)
12時30分～昼食(各自)・構内見学
※昼食費は生徒個人負担
14時00分 バス集合、出発
16時00分 西高到着・解散

(6) 具体的な実施内容と参加生徒

11月27日(木)

【講座1】『ペットボトルで人工雪を作る』(結晶工学分野) 引率: _____
講師 内田 努 先生
参加生徒 _____ (5名)

【講座2】『酵素でオリゴ糖を作ってみよう』(生物・化学分野) 引率: _____
講師 奥山 正幸 先生
参加生徒 _____ (4名)

【講座3】『プラスチックやゴムを作ってみよう』(化学分野) 引率: _____
講師 磯野 拓也 先生
参加生徒 _____ (5名)

【講座4】『感染症を遺伝子検査で診断してみよう』(生物学分野) 引率: _____
講師 林田 京子 先生
参加生徒 _____ (6名)

【講座5】『北海道の寄生虫を科学しよう』(生物学分野) 引率: _____
講師 中尾 亮 先生
参加生徒 _____ (5名)

11月27日(金) 研修のまとめ 発表
助言 内田 努 先生
「研究方法とまとめ方の視点について」

(7) 宿泊先 _____
(〒_____ Tel_____)

(8) 生徒費用 10,000円 (宿泊・バス代等)